



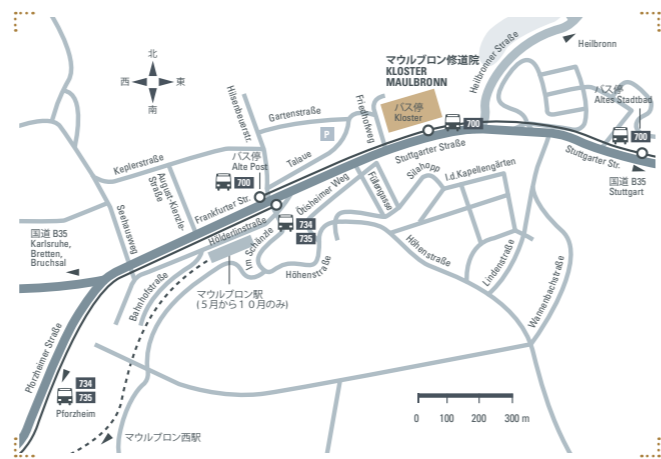
風格ある建物群が印象的な Maulbronn 修道院。
中世シトー会修道士たちの生活を今に伝える

塀の外には今も養魚場や修道院所有のブドウ畑があり、自給自足の理想を追求した修道士たちの暮らしぶりが見て取れます。修道院の敷地内では今年間を通して様々な市が開かれ、その伝統が生き続けていると言えるでしょう。

また、シュヴァーベン地方の名物に **マウルタッシェン (Maultaschen)** という、餃子に似た食べ物がありますが、Maulbronn 修道院はその発祥の地としても有名です。ヤコブという平修道士が、断食の期間に神様の目を盗んで肉を食べるため、野菜と混ぜて生地で包んだのが始まりだと言われています。名前に「マウル」とつくのもそのため、当地の方言では「神様騙し」(Herrgotts'scheißerle) と呼ばれ、地域を越えて愛される食となりました。



アクセス

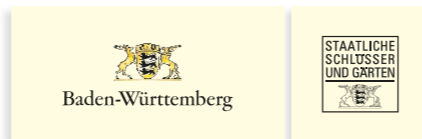


交通の御案内

公共交通機関御利用の場合: バス700番は停留所 **ブレッテン・ミュールアッカー (Bretten-Mühlacker)** から、バス734/735番は停留所 **プフォルツハイム (Pforzheim)** から乗車。日曜・祝日は特急電車 **“Klosterstadt Express”** もご利用いただけます (5月～10月のみ)。

全管轄文化遺産に関する情報
バーデン=ヴュルテンベルク州立宮殿および庭園
Schlossraum 22a · 76646 Bruchsal · ドイツ

ホットライン +49(0)72 51.74-27 70
毎日8:00～20:00 (予約サービスなし)
info@ssg.bwl.de



www.schloesser-und-gaerten.de/en

写真:SSG/AMZ、図紙:1、6 Günther Bayer, 2 Jochen Ostergradt、3、4、5 Nils Schubert、7 Adam Wende // 写真センター:www.jungkommunikation.de

SSG_OBFLX_127_Maulbronn_J_01_21-22



中世の面影とともに生き続けるユネスコ世界文化遺産

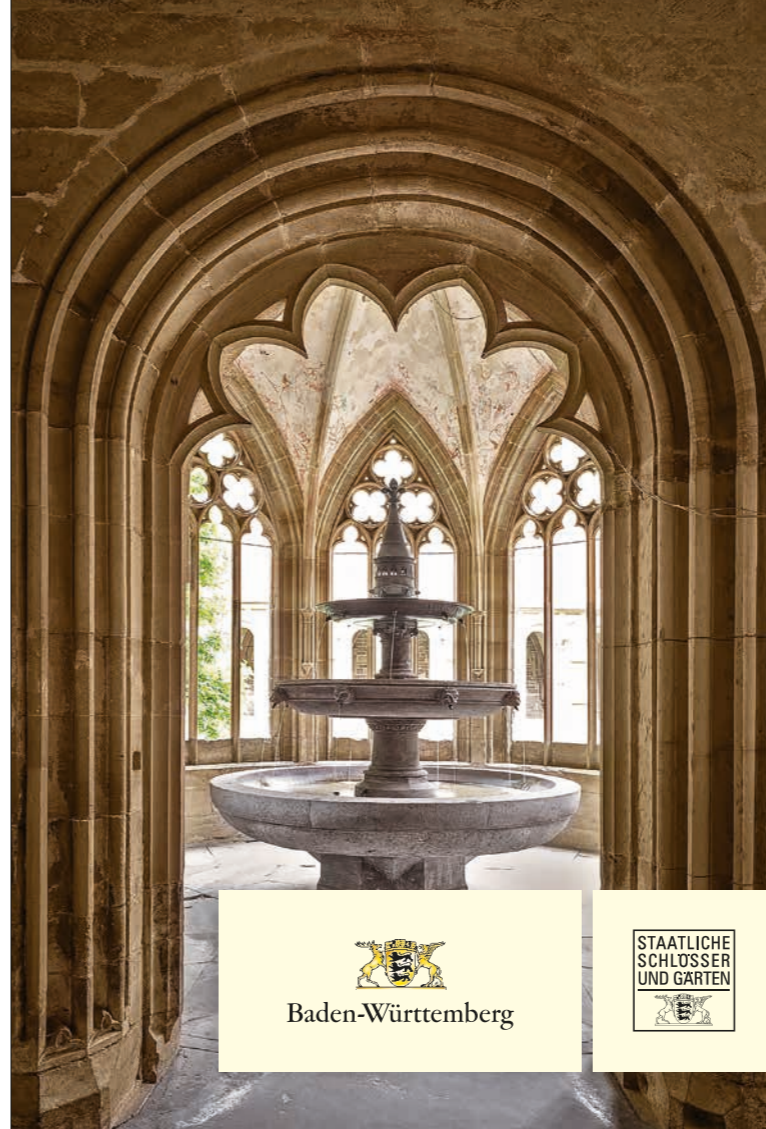
マウルブロン修道院



Organisation
der Vereinten Nationen
für Bildung, Wissenschaft
und Kultur



Klosteranlage Maulbronn
Welterbe seit 1993



修道士たちの生活を今に伝える Maulbronn 修道院

かつてシトー会修道院であった Maulbronn 修道院の始まりは12世紀までさかのぼります。非常に保存状態の良いのが特徴です。

何世紀という歳月をかけて建てられた修道院には、様々な建築様式が取り入れられています。春には美しい花を咲かせる **モクレンの木** と、広い範囲にわたって保存されている文化的景観の中で、当時の修道士たちの暮らしに思いを馳せるのも良いでしょう。自給自足という修道会の理想に基づき、瞑想と祈り、そして過酷な労働を日課としていました。敷地内では野菜や薬草、果物が栽培され、修道士たちの糧となっていました。

マウルブロン修道院は、最も良い状態で現存する中世ヨーロッパの修道院。ロマネスクから後期ゴシックまでのあらゆる建築様式が、ほかでは味わえない濃厚な雰囲気の中でご覧いただけます。



🏰 かつて洗手の場であった泉の部屋から見る回廊の眺め。春先には庭にモクレンの花が美しく咲き乱れる

文化史上最高級の遺産

修道院の運営は、かつては修道院の枠をはるかに超えた範囲にまで及んでいました。シトー会修道士達は「グランギエン」(Grangien)と呼ばれた農作物貯蔵庫を多く所有し、その経済的基盤を周辺地域にも築いていたからです。マウルブロン修道院は現在に至るまで、当時の様子をほとんど変えることなくそのままに残しており、文化史上最高級の遺産となっています。

宗教改革後、クリストフ・フォン・ヴュルテンベルク公(Herzog Christoph von Württemberg)は1556年にここにプロテスタントの修道院学校を創設し、現在でもプロテスタントの神学校として続

🏰 世界文化遺産マウルブロン修道院には驚きと発見に満ちている



1147年から創設されたかつてのシトー会修道院マウルブロンは、シュトロームベルクのなだらかな丘陵地に建っています。ここで、ゴシック様式の建築原理がドイツ語圏の空間で初めて実現したのです。1993年にこの修道院は、ユネスコ世界文化遺産に登録されました。

当時の面影を今も残す中庭付きの厳かな修道院全体像

中世の城壁と塔に囲まれた中庭では、厳かな修道院全体像をご覧いただけます。建造物としてのハイライトは、ロマネスク様式の修道院教会のほか、ゴシック様式の回廊と禁域内にある井戸屋形でしょう。

正面の教会堂玄関ホール「パラディース」(Paradies)は、教会入口付近に原罪の歴史を描くという伝統からその名が来ています。1522年に行われたのが一番最後の彩色でしたが、今ではわずかしかなかった。パラディース、回廊の南翼部、修道士達の食堂は、後期ロマネスクから初期ゴシック様式への移行を体現しており、ドイツ語圏内で初期ゴシックが普及していった様子を伝える極めて重要な歴史遺産です。



🏰 完璧な初期ゴシック「パラディース」はマウルブロンで最も重要な建築モニュメントの一つ

いています。ヨハネス・ケプラー(Johannes Kepler)、フリードリヒ・ヘルダーリン(Friedrich Hölderlin)、ヘルマン・ヘッセ(Hermann Hesse)など著名な学者や文学者たちもこの神学校に通っていたことが知られています。

世界文化遺産に指定されて以来、この修道院の存在は世界中に知れ渡り、海外から数多くの訪問者を引き寄せています。道院建造物での音響効果が大いに発揮されるコンサートも定期的開催されています。

🏰 ロマネスク様式アーケード壁、ゴシック様式の丸天井など、修道院教会が歴史の時代変化を体現



観光案内

開館時間	3月1日～10月31日	11月1日～2月28日
修道院	月～日 9:30～17:30	火～日 9:30～17:00
	最終入場は各開館時間の45分前。12月24日、12月25日、12月31日は閉館。1月1日は13:00～17:00開館。	

ガイドツアー	3月1日～10月31日	11月1日～2月28日
修道院	月～日 11:15と15:00	火～日 11:15と15:00
	団体ガイドツアーは参加者との取り決めに従って実施。英語、フランス語でも対応可能。各種言語で音声ガイドの用意あり。特別ガイドツアーはウェブ上のプログラムおよび参加者との取り決めに従って実施。	

入場料	3月1日～10月31日	11月1日～2月28日
修道院		
大人	9.00 €	9.00 €
割引	4.50 €	4.50 €
家族	22.50 €	22.50 €
年間パス	45.00 €	45.00 €
外部ガイド	60.00 €(総額)	60.00 €(総額)
団体(20人以上)	8.10 €(1人あたり)	8.10 €(1人あたり)

修道院(標準ガイドツアーまたは音声ガイドつき)		
大人	12.00 €	12.00 €
割引	6.00 €	6.00 €
家族	30.00 €	30.00 €
団体(20人以上)	10.80 €(1人あたり)	10.80 €(1人あたり)
	ドイツ語、英語、フランス語、イタリア語、スペイン語、日本語によるオーディオガイド	

バリアフリー、入場割引、特別ガイドツアーおよび訪問に関するその他の重要なお知らせはウェブサイトに掲載しています。

お問い合わせ先

マウルブロン修道院
案内所
Klosterhof 5
75433 Maulbronn
電話 +49(0)70 43.92 66 10
FAX +49(0)70 43.92 66 11
info@kloster-maulbronn.de
www.kloster-maulbronn.de/en